

第64回
全国保育問題
研究集会



石川集会
速報
第2号

特別講座特集

今回の加賀五彩は草色です。

一番乗りさんはだーれ♡



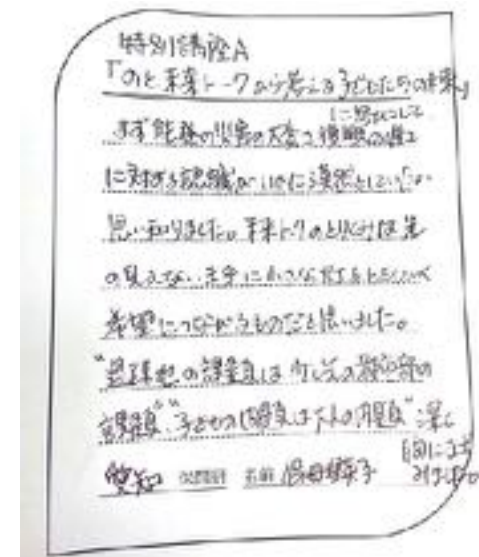
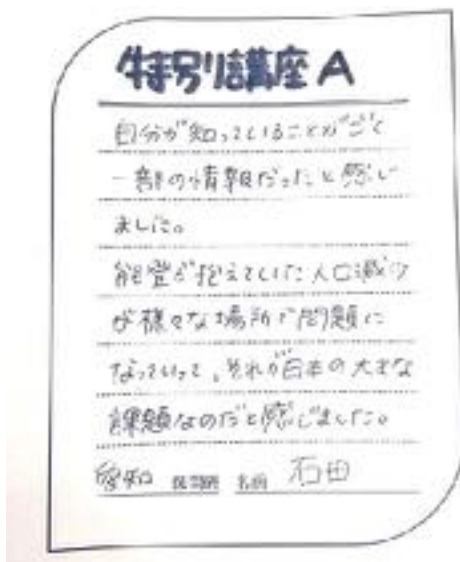
現役から離れて30年くらい経つのですが、ここ8年前くらいから保門研に戻ってきました。京都保門研なんですけれど、久しぶりに顔を出したときに顔なじみの人がまだまだ現役でやっておられて、全国大会の兵庫・北海道と参加させてもらって私自身ももう一度保育に関わりたいという気持ちで一番乗りで来ました。身体づくりの分科会に参加します。

特別講座A

の未来と未来トークから考える 子どもたちの未来

特別講座A

の未来と未来トークから考える 子どもたちの未来



講演の中で印象的だったのが

「人口減少している中で、そこに税金を投入するのが必要なことなのか」という論調があるけれど……

「そんなことでは無い。その土地で暮らし、そこで影響を受けて、それがあっての人のつながりがある。生まれ育った場所で生き続けることができるようにする…それを土台に復興があるべき姿だ」に感動！

特別講座B 保育がおもしろくなるまでに

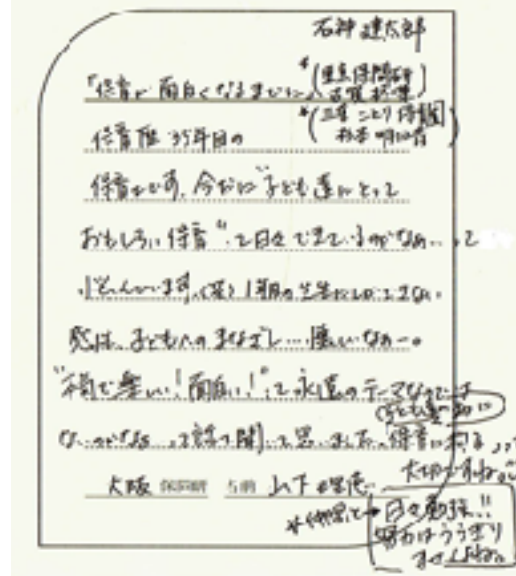
みなさんは保育のおもしろさをどこで感じていますか そんな問いかけで始まった講座でした。



保育って難しいけど
おもしろい

ごっこあそびがむずかしい！！
でも、“おおきなかぶごっこ”
をしてから楽しくなってきた。
とにかく子どもたちと一緒に楽し
めるようにと考えるように
なった。

三重 ことり保育園 杉本さん



参加者の方から

経験年数、立場など関係なく、
フラットに今の自分の思いを
話したり、保育のおもしろさを
語る時間も設けられました。

単に子どもがかわいい、
おもしろいだけではない「保育」

子どもたちの行動に振り回され、無力さを感じていた1年目だったが、主の担任となったときから、子どもたちの姿を予測しながら考えながら保育をつくり上げていくところでおもしろさを感じ始めた。

東京 古賀さん



特別講座C 輪島塗の箸づくり体験

埼玉からの参加者

(講師の鈴木さん…3歳と6歳のお子さんの
避難所での話から)

担任しているこどもの保護者が石川出身
で、帰省中に震災にあい、実際に避難所生
活も体験した。初めの、震災体験のお話し
を聞くことができて良かった。



細かい作業で「みえな—い！」と悲鳴が聞こえてきます
掘る力加減が難しい。入れすぎでもいけないし……



輪島塗の箸づくり体験

コロナ禍、各地への移動がままならなく
なした後、高知合研とタタに現地参加をし、
実際に開港地を訪れる事の出来る幸せを
感じました。今回の石川さんも、そのお話を
感じられる取り組みに参加したい！と
この講座を申し込みました。鬼いかに
残る箸をつくりたいです。

大阪 保間研 名前 高山 彰子



その他の特別講座は

◀ 配信していまーす!!

講座D 戦後80年を迎える今、保育の歴史を学ぶ

講師 松本園子さん

講座E “幼稚園の今” から子ども育ちを考える

講師 木都老克彦さん

高橋詩子さん

渡邊保博さん

講座F 仲間関係で育ちあう乳児保育

講師 亀谷和史さん

野村 朋さん

講座G 東日本大震災から考える

〈犠牲〉の受容

講師 石井光太さん

講座H 能登に伝わる「キリコ祭り」を知る

講師 大森重宜さん

講座I 「なんでそなん!？」

子どもへのまなざしを豊かにする

講師 高松智行さん